

膀胱炎について

膀胱炎は、膀胱内の炎症が原因で、排尿時痛、頻尿、残尿感、下腹部痛などの症状を起こす疾患です。急激に発症して症状が強い急性膀胱炎、経過が長く症状が弱い慢性膀胱炎に分類されます。

また、膀胱炎の原因となる基礎疾患がない単純性膀胱炎、基礎疾患を有する複雑性膀胱炎に分類することもあります。基礎疾患には膀胱結石、膀胱内異物、神経因性膀胱、前立腺肥大症、膀胱癌、前立腺癌、膀胱腸瘻、膀胱尿管逆流、膀胱憩室、糖尿病、免疫不全などがあります。複雑性膀胱炎の場合には基礎疾患の治療も必要となります。

さらに感染が原因の感染性膀胱炎、感染以外が原因の非感染性膀胱炎に分類することもあります。感染性膀胱炎の原因としては大腸菌が多いですが、他の細菌やウイルスなどが原因の場合もあります。非感染性膀胱炎には間質性膀胱炎、放射線性膀胱炎、薬剤性膀胱炎などがあります。

検査

白血球が5個/HPF以上を膿尿と定義されています。膿尿が確認された場合には尿培養検査と抗菌薬感受性試験を追加します。ただし、採尿によっては判断が難しくなる場合があります。男性では排尿途中の尿を中間尿として採取しますが、女性では排尿途中の尿を採取することが難しく、膀胱炎とは関係ない細菌混入の危険性が高いです。女性で厳密に検査するためにはカテーテル導尿での採尿が望ましいです。複雑性膀胱炎が疑われる場合には、エコー検査、尿細胞診、膀胱鏡検査、CT検査などを追加することがあります。

治療

感染性膀胱炎は抗菌薬(セフェム系抗生剤、キノロン系抗生剤)で治療することが多いですが、最近はキノロン耐性菌が増加しています。難治性の場合には抗菌薬感受性試験の結果で内服薬を変更、または注射薬も検討します。膀胱炎の原因となる基礎疾患があれば、これの治療も必要となります。

再発予防

- ①水分を十分にとり、尿量を増やす。
- ②長時間、排尿を我慢しない。
- ③下半身を冷やさない。
- ④排便後は前から後ろの方向に拭く。
- ⑤外陰部をシャワーなどで清潔にする。
- ⑥治療後 2 週間くらいは性行為を中止し、性行為後は早く排尿する。